

プログラム

令和5年9月1日（金）

細菌学会九州支部評議委員会 10:00 – 11:00

九州微生物研究フォーラム運営委員会 11:00 – 12:00

受付開始 11:30 –

開会挨拶 12:50 – 13:00 世話人 小椋義俊
世話人 濱村奈津子

一般演題 I 13:00 – 14:00

【座長 古瀬祐気 長崎大学】

O-1. 術後眼内炎を引き起こすキノロン耐性結膜嚢常在細菌迅速検出システムの検証

○加藤喜大¹、小椋義俊²、山本武司²、奥野未来²、古嶋慧¹、新井律樹¹、
佐藤一徳¹、春田雅俊¹、吉田茂生¹
¹久留米大学医学部眼科学講座、²同感染医学講座基礎感染医学部門

O-2. カルバペネム耐性肺炎桿菌感染マウスに対する新規 MBL 阻害剤の治療効果

○豊元柊弥、山本景一、津々木博康、澤智裕
熊本大院・生命科学・微生物

O-3. Suppression of dengue virus replication by the French maritime pine extract Pycnogenol®

○Kazi Anowar Hossain¹, Rupaly Akhter¹, Md Haroon Or Rashid¹, Lipi Akter¹,
Masashi Utsunomiya¹, Bouchra Kitab¹, NgweTun MM³, Michinori Kohara²,
Kouichi Morita³, Kyoko Tsukiyama-Kohara¹
¹Kagoshima University, ²TMIMS, ³Nagasaki University

休憩 14:00 – 14:10

一般演題 II 14:10 – 15:30

【座長 宮原敏 産業医科大学】

O-4. 海産甲殻類を用いた農薬類の生態影響評価

○内田雅也¹、水川葉月²、平野将司³、富永伸明¹、有菌幸司⁴、石橋弘志²
¹有明工業高等専門学校、²愛媛大学、³東海大学、⁴熊本大学

O-5. 酵母と乳酸菌の共生下にクロレラ粉末が与える影響

○皆川貴義、蒲池加寿子、菅野敏博
クロレラ工業株・RD部

Q-6. 水環境に生息する細菌捕食性細菌 *Bdellovibrio* 属細菌の分離とゲノム解析による捕食能決定因子同定の試み

- 星子裕貴、山本武司、奥野未来、小椋義俊
久留米大学医学部感染医学講座基礎感染医学部門

Q-7. 繊維状コレラ菌の運動性および感染力

- 許駿¹、阿部圭吾²、児玉年央³、角田至悠¹、中村修一²、山城哲¹
¹琉球大学医学研究科細菌学講座、²東北大学大学院工学研究科応用物理学専攻、
³長崎大学熱帯医学研究所細菌学分野

休憩 15:30 – 15:40

特別講演 I 15:40 – 16:25

【座長 濱村奈津子 九州大学】

「複合微生物系の好適制御に向けて ～機能的安定性の維持機構とは～」

二又裕之 先生（静岡大学グリーン科学技術研究所新エネルギー研究コア）

特別講演 II 16:25 – 17:10

【座長 小椋義俊 久留米大学】

「タンパク質のような機能を発現する合成高分子の開発」

星野友 先生（九州大学大学院工学研究院応用科学部門分子・生物システム工学）

ポスターセッション 17:10 – 18:20

日本細菌学会九州支部総会（細菌学会員対象） 18:20 – 18:40

情報交換会 19:00 – 21:00

令和5年9月2日(土)

開場 9:00 -

一般演題 III 9:15 - 10:15

【座長 小原恭子 鹿児島大学】

O-8. 微細藻類クロレラ (*Parachlorella beijerinckii*) は真皮類似構造モデルにおいて終末糖化産物 (AGEs) の形成と糖化ストレスで誘導される炎症を抑制する

○今井有未、中嶋裕也、菅野敏博
クロレラ工業株式会社

O-9. ダニ媒介性脳炎の病態形成におけるマダニ唾液由来 sialostatin L2 の影響の解析

○福田美津紀¹、平野港¹、今内覚²、好井健太郎¹
¹長崎大・高度感染研、²北大・獣医

O-10. ミティス群レンサ球菌におけるメンブランベシクルの産生とその作用特性

○松本愛理¹、大貝悠一¹、田端厚之²、住友倫子³、中田匡宣¹
¹鹿大・院医歯・口腔微生物、²徳大・院社会産業理工・生物資源産業、
³徳大・院医歯薬・口腔微生物

休憩 10:15 - 10:25

一般演題 IV 10:25 - 11:25

【座長 有吉渉 九州歯科大学】

O-11. Ethidium bromide 染色法を用いた口腔内細菌の全菌数計測

○高田まゆこ^{1,2}、福田和正¹、志渡澤和佳²、齋藤光正¹
¹産業医大・医・微生物学、²産業医科大学病院・歯科口腔外科

O-12. 感染性動脈瘤を引き起こした *Streptococcus agalactiae* のゲノム解析結果

○有水遥子¹、奥野未来²、長崎洋司¹、星子裕貴²、山本武司²、小椋義俊²
¹九医セ・感染、²久大・医・感染医学

O-13. Analyzing Koala Retrovirus (KoRV) in Pneumonia-Affected Captive Koalas: Comparative Subtype Distribution Study

○Lipi Akter¹, Md Abul Hashem¹, Tofazzal Md Rakib¹, Md Haroon Or Rashid¹, Kazi Anwar Hossain¹, Rupaly Akhter¹, Masashi Utsunomiya¹, Bouchra Kitab¹, Tatsuro Hifumi¹, Noriaki Miyoshi¹, Fumie Maetani², Kyoko Tsukiyama-Kohara¹
¹Kagoshima University, ²Hirakawa Zoological Park

休憩 11:25 - 11:35

一般演題 V 11:35 - 12:35

【座長 大野真治 琉球大学】

O-14. モノネガウイルスのポリメラーゼはどのようにウイルスゲノムの長さを数えるか

芦田将一¹、小嶋将平²、○松本祐介¹

¹鹿児島大学共同獣医学部、²理化学研究所 生命医科学研究センター

O-15. Complete genome sequence-based systematic analysis of plasmids in the *Serratia marcescens* complex

○Nagano Debora Satie、小野友行、後藤恭宏、中村佳司、谷口愛樹、林哲也
九州大学・医・細菌学

O-16. クリミア・コンゴ出血熱ウイルス核タンパク質の細胞トランスクリプトームへの影響解析

○平野港^{1,2}、高橋宏隆³、椎森仁美⁴、櫻井康晃^{1,2}、黒崎陽平^{1,2}、安田二郎^{1,2}、好井健太郎^{1,2}

¹長崎大学高度感染症研究センター、²熱帯医学研究所、

³愛媛大学プロテオサイエンスセンター、⁴奈良先端大

休憩 12:35 - 13:35

一般演題 VI 13:35 - 14:35

【座長 中田匡宣 鹿児島大学】

O-17. 腸管内代謝物に対して誘引される腸炎ビブリオの走化性の解析

○寺島浩行、児玉年央

長崎大学・熱研・細菌学

O-18. グラム陰性菌外膜タンパク質の立体構造を伴った膜挿入機構

○塩田拓也

宮大・フロンティア

O-19. 結核菌 sulfide:quinone oxidoreductase の酵素反応機構

○松尾祐一^{1,6}、志波智生²、伊豫田健次²、中井宇響²、太田明菜²、
稲岡健ダニエル^{3,4,5}、北潔^{3,5,6}

¹熊本大学大学院生命科学研究部生体情報解析学分野、

² 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科応用生物学専攻、

³ 長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究科、

⁴ 長崎大学熱帯医学研究所シオノギグローバル感染症連携部門分子感染ダイナミックス分野、

⁵ 東京大学医学系研究科生物医化学教室、⁶ 長崎大学熱帯医研究所感染生化学分野

休憩 14:35 - 14:45

一般演題 VII 14:45 - 16:05

【座長 藤井祐至 長崎大学】

O-20. 狂犬病ウイルスを末梢感染させたマウスの所属リンパ節におけるトランスクリプトーム解析

○君付和範¹、八尋隆明^{1,2}、カーンシャキル¹、齊藤信夫¹、山田健太郎³、西園晃^{1,2}

¹大分大学医学部微生物学、²大分大学グローバル感染症研究センター、

³宮崎大学農学部獣医公衆衛生学

O-21. Characteristics of replication and pathogenicity of major variants of SARS-CoV-2 at the cellular level

○Sakirul Khan¹, Takaaki Yahiro^{1,2,3}, Kazunori Kimitsuki¹, Akira Nishizono^{1,2}

¹Department of Microbiology, Faculty of Medicine, Oita University

²Research Center for Global and Local Infectious Diseases, Oita University

³Department of Advanced Medical Sciences, Faculty of Medicine, Oita University

O-22. 腸管出血性大腸菌毒素 SubAB の病原性に関わる宿主酸化還元調節の解析

○津々木博康¹、張田力¹、八尋錦之助²、赤池孝章³、澤智裕¹

¹熊本大・院生命科学・微生物、²京都薬科大・微生物感染制御学、

³東北大・院医・環境医学

O-23. 志賀毒素産生性大腸菌 O26:H11 の進化に伴う志賀毒素 1 型形質導入フェージの変動

矢野文悟、谷口愛樹、後藤恭宏、林哲也、○中村佳司

九大院・医・細菌学

休憩 16:05 - 16:15

奨励賞表彰式およびフォーラム運営委員会からの報告

16:15 - 16:25

閉会挨拶

16:25 - 16:30

ポスターセッション

P-1. 紅麹抽出物が CHO 細胞のコレラ毒素感受性に及ぼす影響

○金城朱似乃^{1,2}、金城麗菜^{1,2}、許駿²、橘信二郎¹、山城哲²
¹琉球大学・農学研究科、²同・医学研究科細菌学講座

P-2. ゲノム配列アライメント可視化ツールの開発と紹介

○奥野未来、山本武司、星子裕貴、小椋義俊
久留米大・医・感染医学

P-3. デロビブリオ属細菌と大腸菌の混在系における捕食停滞現象の発見

○大串祐稀、前田憲成
九州工業大学大学院生命体工学研究科生体機能応用工学専攻

P-4. ハイドロタルサイトが及ぼすう蝕原性細菌およびバイオフィルムへの影響

○岡本健太郎^{1,2}、佐伯桂¹、吉岡香絵²、有吉渉²、山崎亮太²
¹九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野、²同感染分子生物学分野

P-5. マルチ分解酵素生成菌群 *Aeromonas* 属細菌の死滅化；外部ストレス応答特性

○遠矢将太郎、前田憲成
九工大・院生命工

P-6. 水環境における形質転換による遺伝子の伝播実態の解明

○玉井荘一郎、謝暉、鈴木祥広
宮崎大学・農工

P-7. アンチモン環境挙動に影響を及ぼす微生物-鉱物相互作用

○保木本剛¹、山下大祐¹、光延聖²、濱村奈津子^{1,3}
¹九州大・シス生、²愛媛大・農学研究科、³九州大・理学研究院

P-8. 淡水環境から単離した未分類の (*Vibrio* 科) *Grimontia* 属および *Enterovirio* 属細菌について

○阪口正浩、ウルバンチク善子、菊池泰生、ウルバンチク・ヘンリク
宮崎大学大学院農学部海洋生物環境科学コース

P-9. 高温熱水に生息する未培養アーキア OYS group の生理・生態

○碓井雄大、柳川勝紀
北九州市立大学大学院国際環境工学研究科

P-10. 肺炎球菌性肺炎マウスモデルにおける尿中抗原量と肺炎重症度の比較、抗菌薬治療の評価

○菊地勝太¹、太田賢治^{1,2}、佐々木大介²、加勢田富士子^{1,2}、小佐井康介^{1,2}、長谷川寛雄^{1,2}、柳原克紀^{1,2}

¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学、

²長崎大学病院臨床検査科／検査部

P-11. トランスポゾン導入による水素細菌 *Ralstonia eutropha* H16 株のポリヒドロキシ酪酸蓄積変異株の作製

○小役丸桜季、前田憲成

九州工業大学大学院生命体工学研究科生体機能応用工学専攻

P-12. 未培養好熱性アーキア OYS group の形態学的解析の試み

○後藤大樹、柳川勝紀

北九州市立大学大学院国際環境工学研究科

P-13. 感染性心内膜炎に関連する口腔レンサ球菌の抗菌薬に対するパーシスター

○高田和也^{1,2}、山崎亮太²、吉岡香絵²、渡辺幸嗣¹、有吉渉²

¹九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野、²同感染分子生物学分野

P-14. 医薬品—微生物間相互作用が免疫抑制薬の薬物動態に及ぼす影響の検討

○土谷祐一¹、山本奈々絵¹、山本武司²、小椋義俊²、家入一郎¹

¹九州大学病院薬剤部、²久留米大学医学部感染医学講座基礎感染医学部門

P-15. ベトナムの下痢症乳幼児から分離された病原性大腸菌等の特徴

○井口純¹、竹村太地郎²、小椋義俊³、奥野未来³、菊地泰生⁴、長谷部太²、山城哲^{2,5}

¹宮崎大・農、²長崎大・熱研ベトナム拠点、³久留米大・医、

⁴東京大院・新領域創成、⁵琉球大院・医学研究科

P-16. 保育施設における玩具の現実的で持続可能な消毒方法

○荒川満枝¹、岡山加奈²、鈴立恭子³、稲田千明³

¹福岡看護大学看護学部、²関西福祉大学看護学部、³元鳥取看護大学看護学部

P-17. 正常妊娠経過の妊婦における腔細菌叢とその日内変動

○森博士^{1,2}、齋藤光正¹、福田和正¹

¹産業医科大学微生物学、²同産科婦人科学

P-18. Metagenomic characterization of electrosynthetic microorganisms associated with mine wastewater environment

○濱村奈津子¹、鹿島裕之²、光延聖³

¹九州大・理学研究院、²海洋研究開発機構、³愛媛大・院農

P-19. 1946年に長崎県佐世保市にて、中国東北部からの帰還者から単離された、*Vibrio cholerae* 01 生物型クラシカル Man9 株の全ゲノム解析

- 國信健一郎^{1,3}、竹村太地郎²、滝沢木綿²、長谷部太²、山城哲³
¹株式会社フェリクス、
²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻、
³琉球大学医学研究科細菌学講座

P-20. *Porphyromonas gingivalis*におけるタンパク質一過的発現系の構築

- 庄子幹郎¹、佐々木祐子¹、末吉峻幸¹、柴田敏史^{2,3}、松尾長大¹、雪竹英治¹、
Matthias Wolf³、内藤真理子¹
¹長崎大・院医歯薬・口腔病原微生物学分野、²鳥取大・医・細菌学、
³沖縄科学技術大学院大学生体分子電子顕微鏡解析ユニット

P-21. ポータブル・システムを用いたレジオネラの迅速 on-site モニタリング

- 山口進康¹、徳永佑亮¹、齋藤守²
¹大阪健康安全基盤研、²大阪技術研

P-22. *Pseudomonas* 属細菌由来の環境浄化に寄与する染色体組み込み型接合因子(ICE)の *in silico* スクリーニング

藤波寛人、上原由楓、○廣瀬遵
宮崎大・工

P-23. 肺炎マイコプラズマは *glpD* 依存的な過酸化水素の産生を介して脂肪滴の形成を促進する

- 山本武司、奥野未来、星子裕貴、小椋義俊
久留米大・医・感染医学

P-24. 分裂酵母用 CRISPRi の改良と必須遺伝子機能解析への応用

- 石川健、副島朗子、齋藤成昭
久留米大学分子生命科学研究所細胞工学研究部門

P-25. Identification of novel *Helicobacter pylori* virulence factors that regulates macrophage phagocytosis.

- Naomi Aini¹、Weichen Gong²、Kana Nishida²、Tomohiro Miyoshi¹、Hitomi Mimuro¹
¹Research Center for GLOBAL and LOCAL Infectious Diseases, Oita University,
²Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University